

事務事業名	観光協会支援事業			担当	産業部 商工観光課 観光係			
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			増補版施策名	V-3 DC(ディスティネーションキャンペーン)を契機とした観光振興		
施策名	4	観光の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和40 年度~)		
予算科目	1. 一般会計	7. 商工費	1. 商工費	3. 観光費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~ 年度)		
事業概要	<p>観光協会は、市内の名所、史跡並びに郷土の物産を紹介宣伝し、本市観光の推進を図るため設立された。 観光協会職員は、当初、嘱託職員2名体制であったが、平成25年1月から1名、平成25年4月から1名の計2名の職員を新たに採用し、嘱託職員2名とあわせて計4名の体制となった。その後、新たに2名の職員を採用し、平成26年10月の久保記念観光文化交流館の開館に合わせ事務所を久保邸に移し、現在は6名の体制で事業を行っている。 平成26年度には会則の改正に伴い、会長は真岡商工会議所からの推薦者をもって充てられたこととなった。(改正前の会長は、市長) 平成30年度から木綿会館の指定管理が新たに加わり、観光協会事務局長兼木綿会館館長や嘱託職員を増員するなど、現観光協会の体制強化を図っていく。</p> <p><主な観光協会の事業内容> ・観光情報の発信・桜まつり、夏まつり、花火大会等のイベント ・真岡もめん製品をはじめとした物産品販売・物産会館の管理運営を行っている。</p>							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移																																																
29年度実績 市補助金交付事務、事務処理(金銭納入事務、連絡発送事務、観光PR関係事務)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 観光協会支援事務日数(延べ日数)</td> <td>日</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>イ 観光協会への補助金額</td> <td>千円</td> <td>12,604</td> <td>12,591</td> <td>13,825</td> <td>13,262</td> <td>19,608</td> </tr> <tr> <td>ウ 観光協会企画委員会開催日数</td> <td>日</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	ア 観光協会支援事務日数(延べ日数)	日	100	100	100	100	70	イ 観光協会への補助金額	千円	12,604	12,591	13,825	13,262	19,608	ウ 観光協会企画委員会開催日数	日	4	3	3	3	3	エ							オ						
名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)																																												
ア 観光協会支援事務日数(延べ日数)	日	100	100	100	100	70																																												
イ 観光協会への補助金額	千円	12,604	12,591	13,825	13,262	19,608																																												
ウ 観光協会企画委員会開催日数	日	4	3	3	3	3																																												
エ																																																		
オ																																																		
30年度計画 29年度(上記)事務に加え、木綿会館指定管理委託費及び木綿保存振興費補助の事務手続き業務																																																		
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移																																																
真岡市観光協会		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 観光協会会員数</td> <td>人</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>106</td> <td>98</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	ア 観光協会会員数	人	105	105	106	98	100	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)																																												
ア 観光協会会員数	人	105	105	106	98	100																																												
イ																																																		
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移																																																
観光協会の組織強化と観光振興の推進。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 主催及び支援した祭、イベント事業</td> <td>回</td> <td>32</td> <td>33</td> <td>34</td> <td>35</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	ア 主催及び支援した祭、イベント事業	回	32	33	34	35	25	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)																																												
ア 主催及び支援した祭、イベント事業	回	32	33	34	35	25																																												
イ																																																		
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
④ 結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか)		⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移																																																
真岡市を訪れる観光客が増え、地域経済が活性化される。 ・長計目標値(観光客入込数) H29 294万人 H30 297万人 H31 300万人		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 真岡市を訪れた観光客数</td> <td>人</td> <td>2,865,281</td> <td>2,865,612</td> <td>2,912,127</td> <td>2,990,649</td> <td>3,000,000</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	ア 真岡市を訪れた観光客数	人	2,865,281	2,865,612	2,912,127	2,990,649	3,000,000	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)																																												
ア 真岡市を訪れた観光客数	人	2,865,281	2,865,612	2,912,127	2,990,649	3,000,000																																												
イ																																																		
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
(2) 総事業費の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)																																											
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0																																											
		県支出金	千円	0	0	0	0																																											
	財源内訳	地方債	千円	0	0	0	0																																											
		その他	千円	0	0	0	0																																											
		一般財源	千円	12,604	12,591	13,825	13,262																																											
		事業費計(A)	千円	12,604	12,591	13,825	13,262																																											
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	2																																											
		延べ業務時間	時間	1,300	1,300	1,300	650																																											
		人件費計(B)	千円	5,487	5,447	5,399	2,698																																											
		トータルコスト(A)+(B)	千円	18,091	18,038	19,224	18,657																																											
							22,306																																											

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か? いったいどんな経緯で開始されたのか?	昭和40年に、市長を会長として、本市観光の推進を図るため設立されたので支援をはじめた。
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	真岡木綿やSL機関車等を中心に観光PRに大きく関わる観光資源を掘り出し、今後も更なる発展が期待される。観光協会会員も当初は、個々の商店中心であったが企業等の参加が増えている。 平成18年度に観光協会内に企画委員会が発足し、北関東自動車道の真岡インターチェンジからの誘客を実施した。 平成22年1月~3月には、金鈴荘でひな祭りを実施。 平成22年度には、桜写真コンテスト、日本一巡りスタンプラリーを開催した。また、イベントや名所を写真にした真岡市観光カレンダーを作成した。 平成23年には、真岡市物産会館が、震災による被害で取壊しとなり、7月から仮設による物産会館の営業を開始した。 平成25年4月には、SLキューロク館が開館し、誘客対策を開始した。 平成26年10月には、久保記念観光文化交流館が開館し、SLキューロク館と線ぞなく誘客対策を開始した。 平成30年度から木綿会館の指定管理が新たに加わり、観光協会事務局長兼木綿会館館長や嘱託職員を増員するなど、現観光協会の体制強化を図っていく。
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	観光ネットワーク協議会の設立や久保邸の整備に伴い、観光協会の組織、役割の強化が求められている。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 観光協会は市の観光振興の中心的存在であり、観光振興に寄与している。また、地域活性化と真岡市の観光PRに深く関わりがあり市の観光施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市が行うべき観光事業を観光協会が実施しており、必要な存在であり関与は妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市の観光振興の中心的存在であり、観光協会への支援は適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 観光協会の組織、役割を強化することで、さらに観光振興の推進を図ることができる。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 観光協会は任意団体であり、本来は自主運営が望ましいが、現段階では行政の支援がなければ当協会の自立運営をしていくことができない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 当協会の運営に必要な経費であり、削減はできない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 現状においては、市で人的支援する必要があるが、協会の体制強化が図られるので業務時間の削減が見込まれる。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 会員から会費を徴収している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							